



●開催日●

令和5年5月11日（木） 9：30～17：00

●視察地●

- ・ ホテル GALLERIA MIDOBARU（ガレリア御堂原）（大分県別府市堀田5組）
- ・ 別府国際コンベンションセンタービーコンプラザ（大分県別府市山の手町12-1）
- ・ 由布院ステンドグラス美術館（大分県由布市湯布院町川上2461-3）

※昼食は由布院にて各自でお取り下さい。（自由散策）

●当日スケジュール●

9:30 福岡県庁出発 → 11:20～12:00 ガレリア御堂原見学 →

12:15～12:45 ビーコンプラザ見学 → 13:15～14:30 由布院にて昼食 →

14:40～15:00 由布院ステンドグラス美術館 → 17:00 福岡県庁帰着予定

- ・ 手荷物、貴重品等のご自身で管理をお願いします。
- ・ ごみは各自でお持ち帰り下さいますようお願いいたします。
- ・ マスク・うがい薬・除菌シートなどの感染予防用品はお客様ご自身で持参ください。
- ・ 行きと帰りのバスの座席の移動は不可です。

●当日のタイムスケジュール●

- 9:30 福岡県庁出発 ※県庁東公園側正面玄関にて受付しておりますので、9:15までに
お越し下さい。
- ↓
- 11:15 「ホテルガレリア御堂原」視察。ホテルスタッフがエントランスとギャラリーをご案内します。
12:00までに各自でバスに乗車ください。
- ↓
- 12:15 「ビーコンプラザ」視察。現地スタッフが1Fとグローバルタワーをご案内します。
12:45までに各自でバスに乗車ください。
- ↓
- 13:15 由布院駅周辺にて各自で昼食をお取り下さい。14:30までに各自でバスに乗車ください。
- ↓
- 14:40 「由布院ステンドグラス美術館」視察。自由見学となります。15:00までに各自でバスに
乗車ください。
- ↓
- 17:00 福岡県庁帰着予定



●視察地案内●

★ホテル「ガレリア御堂原」

「GALLERIA MIDOBARU（ガレリア御堂原）」は、1900年に大分・別府で創業し複数の旅館を運営する「関屋リゾート」を事業主として、別府八湯の一つ、堀田温泉エリアに誕生したホテルである。ホテルは2棟から成り、本棟はRC造の新築で、レストラン棟は既存RC造建築物を減築（3層→2層）＋増築した再生建築である。本棟館内は雁行した平面形状で、水平と垂直の軸線が交錯しながら繋がる半屋外の「路地空間」で接続されている。歩いて行くと、向こうの空間が見え隠れし、壁や孔でフレーミングされた風景と繋がり、孔から染み入る光や音を感じる。それは、岩盤をくり抜いて生まれた地底都市での空間体験のようであり、アートを探しながら空間を巡る楽しみを提供する。

敷地面積：4856.94㎡ 延床面積：2991.02㎡

発注者：（株）関屋リゾート 設計・監理：DABURA.m（株） 施工：森田・メジャープラン特定建設工事共同企業体



★ビーコンプラザ

建築家の磯崎新氏に設計された別府国際コンベンションセンター「ビーコンプラザ」は、1995年に竣工しました。施設全体が社団法人建築業協会により、日本国内の優秀な建築作品に与えられるBCS賞を受賞しています。コンベンションホール、エントランスホール、フィルハーモニアホール会議棟、グローバルタワーからなる大型コンベンション施設で、最大収容力は8,000人を誇ります。大小様々な会議場もあるので集会を行ったり、展示会やスポーツイベントの他、世界各地の著名人を迎えて大きなイベントを催します。また、敷地内にある展望塔“グローバルタワー”では、日本夜景遺産に登録された貴重な夜景が一眼できます。延床面積：32,453㎡ 施主：大分県/別府市 建築設計：磯崎新アトリエ 現地協力設計事務所：西岡弘建築工房 市民ホール内部設計：AZ環境計画研究所 構造設計：川口衛構造設計事務所



●視察地案内●

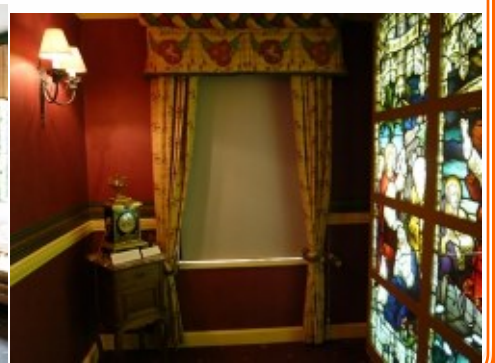
★由布院ステンドグラス美術館

・聖ロバート教会

ステンドグラスは数百年に渡って、殆ど教会のみでの使用しか許されていなかったという歴史もあり、今日においてもなお最上のステンドグラスといわれるものの多くは各国の教会の中に見られます。それゆえ、当美術館にも美しいステンドグラスウィンドウを取り入れた「聖ロバート教会」を併設し、自然光の中で「光の宝石」・「光の芸術」をご鑑賞いただいております。この建物も「ニールズ・ハウス」同様、屋根瓦（スレート）やレンガなど外装用の建材には、150年以上の歴史を持つ英国製の味わい深いアンティークのものを使用しております。レンガ一つとりましてもその色合いが微妙に異なり、手作り独自の温もりを持っておりこの地を訪れる方の心を安らげることと思います。この教会の骨組みは現在では珍しい完全木造建築で、非常に手の込んだ工法で造られており、これが大分産の日田杉の美しさを際立たせています。教会に厳粛さと気品を与えているメイン・ステンドグラスや十字架・聖杯などの備品や調度品は、英国国会議事堂の再建を手がけたピュージンなどの高名な作家の手による芸術品です。

・ニールズ・ハウス

「ニールズ・ハウス」の館内には7つの展示室とショップとティールームがあります。イギリス・ドイツ・フランス等ヨーロッパのステンドグラスをメインに、アール・ヌーボーの最高傑作といわれるエミール・ガレの作品や工芸品、絵画など数多くの美術品が展示されています。中でもアイルランドの天才芸術家ハリー・クラークのステンドグラスは、現在国外への持ち出しが禁止されている希少な作品です。又、7つの展示室はそれぞれのテーマやステンドグラスの歴史、色合いに合わせた壁紙やカーテンが使われており、ここで使用された内外装は全て英国から取り寄せたもので、建築に関しては英国人職人の指導の下、日英共同で完成されたものです。



●MEMO●

[illegible]

福岡県ゆとりある住まいづくり協議会

〒812-8577

福岡市博多区東公園7番7号 福岡県建築都市部住宅計画課内

TEL 092-643-3732 FAX 092-643-3737

E-mail sumaikyo-1952@fukuoka.email.ne.jp